

電力量計類及び計器箱の施設

電力量計，タイムスイッチ，低圧変流器付計器は，東京電力の所有とし，東京電力の負担で取付ける。

電力量計類の設置場所及び設置方法については次による。

1. 電力量計，タイムスイッチ，低圧変流器を施設するときは，低圧変流器付計器以外は計器箱類の取付けを行わないことを原則とする。

なお，計器箱類を使用する場合は，以下の要件を満たすもの又は東京電力支給のものを使用する。

2. 電力量計，タイムスイッチの取付場所は，原則として屋外とし，アパートの中廊下などで検針・保守などに支障がない場合は，東京電力と協議のうえ屋内とすることができる。取付にあたっては，木製の柱など絶縁性のものの上に電力量計が堅固に取付けられる場合を除き，厚さ20mm以上の次表に示す大きさの難燃・耐候性のある合成樹脂製の取付板を取付けるのを標準とする。ただし，雨線内に施設する場合は木板とすることができる。

また，单相2線式・单相3線式兼用型の合成樹脂製取付板は第1図による構造並びに材質に適合するものを使用すること。

電力量計，タイムスイッチの取付板の外形寸法表

配線の 電気方式	計器の 容量 (A)	大 き さ		備 考
		縦 (mm)	横 (mm)	
单相2線式	30A以下	280以上	200以上	单相計器全機種に適用 できる
	50A以上	350 〃	200 〃	
单相3線式 及び 三相3線式	30A以下	350 〃	200 〃	〃
	50A以上	410 〃	250 〃	全機種に適用できる

〔注1〕 单相2線式の電子式電力量計は单相3線式及び三相3線式の大きさを適用する。

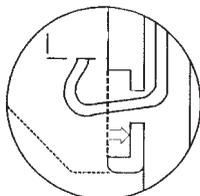
〔注2〕 この表には，配線は含んでいないので，電線の取り廻しに必要な寸法（引込口配線諸工事 第5図（P.32）を参照）を加味すること。なお，計器への電線の挿入は下部を標準とするので注意する。

〔注3〕 鉄筋コンクリートなどのアパートで，ボックス上に電力量計を取付ける場合は，計器取付板と，ボックスの取付ねじのほか，封印ねじの取付箇所を設ける。ただし，電力量計を取外さなければ計器取付板の取外しができない構造のものについては，

省くことができる。

〔注4〕 計器取付板は4角に設けられた取付穴に3.5×40mm以上の木ねじ、又は60mm以上のくぎで造営材に堅固に取付ける。

〔注5〕 引込口配線を隠ぺい配線とする場合は、P.32第5図計器取付板における配線方法によるとともに、取付板については次のような構造のものを推奨する。



※壁内から出てくる電線の処理がし易いように、また、電力量計の取替を無停電で行う工具の使用などに配慮し、入出線口を計器取付面より一段下げた構造のもの。

低圧変流器取付板の外形寸法

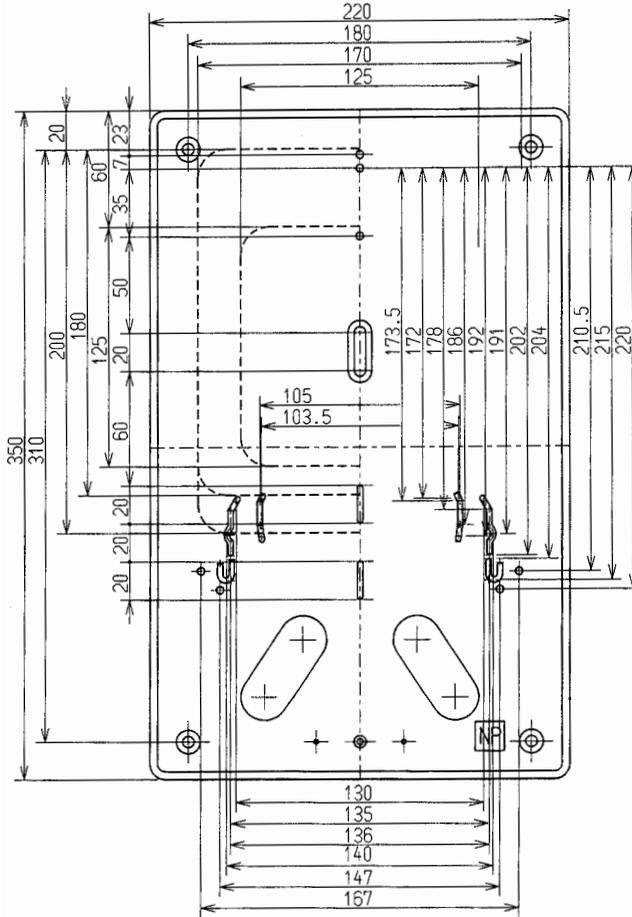
配線の 電気方式	変流器の 容量 (A)	大 き さ		備 考
		縦 (mm)	横 (mm)	
単相2線式 単相3線式 三相3線式	300A	500以上	400以上	屋外用低圧変流器に適用できる

〔注1〕 低圧変流器を取付ける箇所が木造造営材でメタルラス張り、ワイヤラス張り又は金属板張りの場合には、板の厚さを25mm以上とする。

〔注2〕 取付板は低圧変流器の質量（約10kg）が支持できるように造営材に堅固に取付ける。

〔注3〕 屋内用低圧変流器を適用する場合の取付方法は、東京電力と協議して決定する。

第1図 (参考) 単相2線式・単相3線式兼用型電力量計取付板寸法図



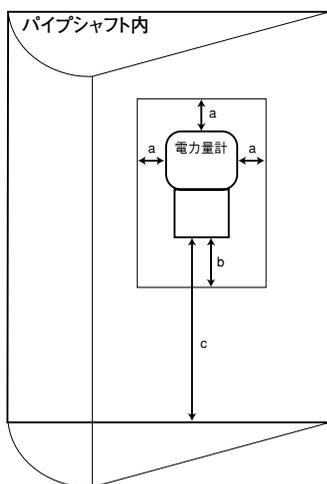
材質：難燃性樹脂成型品

構造：・直径5mm以上の固定用ビス穴を四隅に設けること。

- ・配線のためのノックアウトを設ける。穴の大きさは14mm²3芯ケーブルが容易に配線できるものとする。
- ・需要家名を表示できる表示部を設けること。
- ・下部には水抜き穴を設けること。

3. 電力量計，タイムスイッチ及び低圧変流器を屋外に取付ける場合は，引込線取付点と引込口との間で，電力量計は地表上，下端が1.8m以上で上端が2.2m以下，低圧変流器は地表上，下端が2.2m～2.5mの高さに取付ける。また，低圧変流器付計器は地表上，上端が1.8m～2.2mの高さに取付ける。

集合住宅におけるパイプシャフト内に電力量計等を取付ける場合床面からの，下端が0.8m以上1.8m以下，扉開放時に正面に向けて取り付ける。周囲スペースとして，電力量計上端から50mm，下端から100mm，左右は特に定めないが50mm程度が望ましい。また，前面に障害となるような配管は避ける。



	(mm)		
	a	b	c
周囲スペース	50	100	—
床面からの高さ	—	—	800～1,800

ただし，工事上やむを得ない場合で検針・保守などに支障のない場合については，東京電力との協議により，別に取付けることができる。

4. アパートなどの電力量計取付けは，各戸の入口付近に分散して取付ける。
ただし，工事上やむを得ない場合は，東京電力と協議のうえ集合して取付けるか又は7. に適合する集合計器箱により取付けることができる。
5. 電力量計，タイムスイッチ及び低圧変流器の種類，構造及び寸法の最大は次のとおりとする。

強化耐候形電力量計寸法例（単位：mm）

		単相 2 線式		単相 3 線式 三相 3 線式	
		30 A	120 A	30 A	120 A
A	高 さ	214	262	293	331
B	横 幅	144	151	181	200
C	奥 行	114	134	128	137

電子式電力量計寸法例（単位：mm）

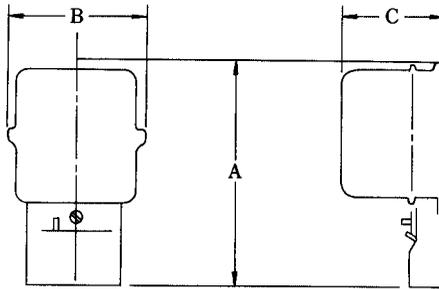
		単相 2 線式・単相 3 線式・三相 3 線式	
		30 A	120 A
A	高 さ	281	324
B	横 幅	176	193
C	奥 行	98	98

電子式深夜電力用タイムスイッチ寸法例（単位：mm）

		単相 2 線式	
		30 A	60 A
A	高 さ	220	330
B	横 幅	145	200
C	奥 行	115	140

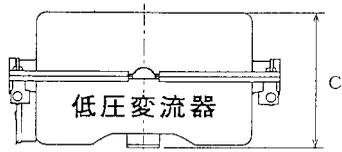
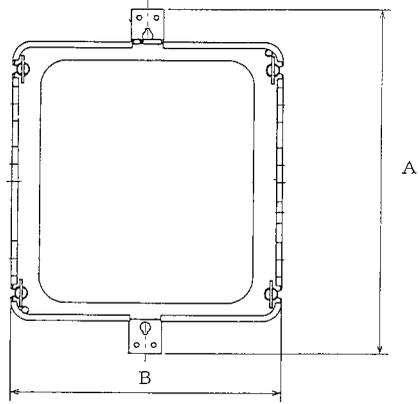
深夜電力用タイムスイッチ寸法例（単位：mm）

		単相 2 線式		三相 3 線式
		30 A	60 A	100 A
A	高 さ	220	330	330
B	横 幅	145	200	200
C	奥 行	115	140	140



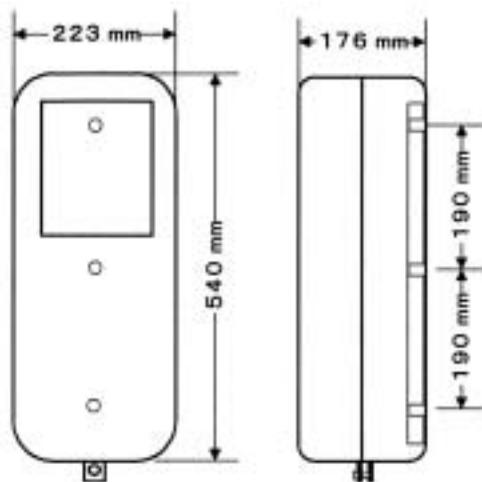
屋外用低圧変流器寸法例（単位：mm）

		単相 2 線式 単相 3 線式 三相 3 線式
		300 A
A	高 さ	400
B	横 幅	320
C	奥 行	160

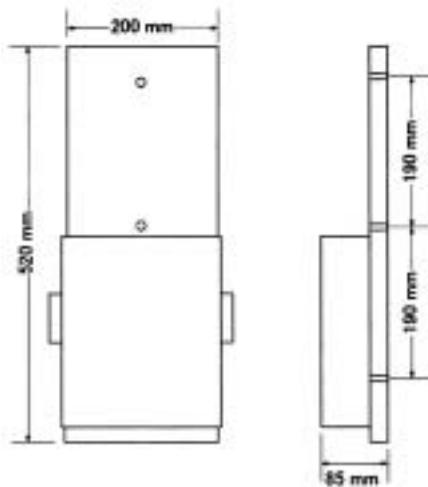


第2図 変成器付計器箱の寸法図

屋外用計器箱（屋外に施設する場合に使用）



屋内用計器箱（屋内に施設する場合に使用）



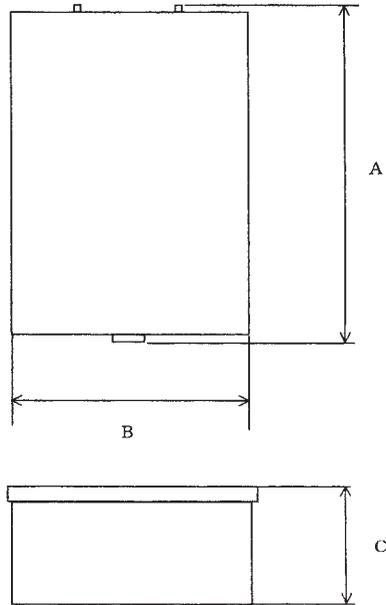
6. タイムスイッチ補助開閉器（以下、TS補助開閉器）の取付けは次による。

タイムスイッチ単体での負荷開閉が行えない大容量の深夜電力機器を使用する場合、タイムスイッチのほか、タイムスイッチの「入」「切」に連動して負荷開閉するTS補助開閉器を併用して施設する。

- (1) 取付場所は、電力量計及びタイムスイッチと近接した場所とするが、容量が220A・300Aのものを屋外に取り付ける場合は、防水性を有するキャビネットなどに収める。
- (2) TS補助開閉器は、施設条件により腐食しない材質の厚さ20mm以上の取付板上に取付けすることとし、取付箇所が木造造営材でメタルラス張り、ワイヤラス張り又は金属板張りである場合には、取付板の厚さは25mm以上とし造営材より絶縁する。
- (3) 取付板はTS補助開閉器の重量が支持できるように造営材に堅固に取付ける。
- (4) TS補助開閉器を適用する場合の取付けその他の詳細については、東京電力と協議して決定する。

TS補助開閉器外形寸法例（単位：mm）

		単相2線式 単相3線式 三相3線式		
		150A	220A	300A
A	高さ	325	500	610
B	横幅	195	270	440
C	奥行	100	210	220



7. 集合計器箱を使用する場合は次による。

(1) 適用

主としてアパートなどで取引用電力量計（以下「計器」という。）あるいはこれと開閉器類（電源側の主開閉器及び端子台，負荷側の各世帯用の開閉器）を多数集合して収納する場合に適用する。なお，建物構造，室配列による計器配置については東京電力と協議する。

(2) 構造及び材料

a. 一般事項

計器の検針，保守及び調査（検査）が容易で，各部を外部より防護するのに適当な形状とする。また，屋外用のものでは，さらに耐候性にすぐれたものであること。

b. 構造

開閉器類を一括で収める構造とするか，それぞれ，別個の箱に分割したものとする。

なお，一括で収める場合は，次の各部の間には，隔壁を設け，かつ，別々の扉又はふたを取付けること。

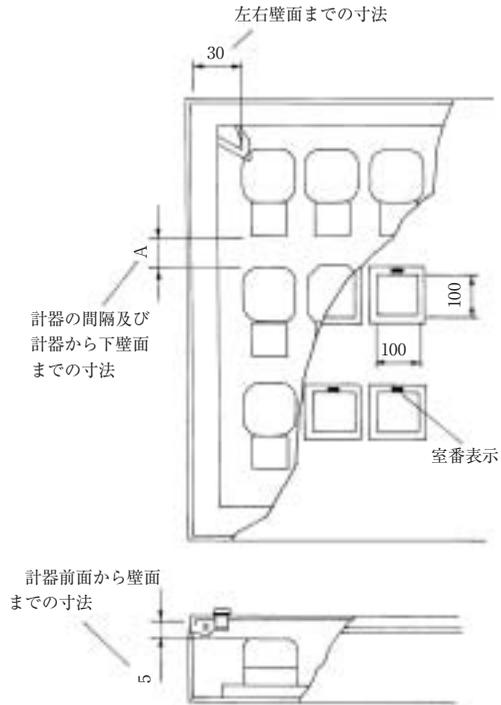
(a) 主開閉器及び端子台を収める部分

- (b) 計器を収める部分
- (c) 各世帯の開閉器を収める部分
- c. 形状及び寸法
付図による。ただし、形状は一例を示す。
- d. 箱板
十分な強度を有し、計器を収める部分には、計器取付用の板を堅固に取付ける。
- e. 計器取付板
施設条件により腐食しない厚さ20mm以上の材質のものを選択し、ソリ、ヒビワレのないよう適当な方法で堅固に箱を取付けること。また、この取付ボルトの類は、計器取付けの際、計器に接触したり、取付けに支障とならないようにすること。なお、検針窓の中心がわかりやすいよう中心線又は碁盤目表示を行う。
- f. 検針窓
計器を収める部分の扉には、検針用の窓を透明ガラス（厚み3mm以上）などにより設ける。
- g. 番号表示
主開閉器部の端子台、計器取付部、各戸に至る開閉器には、それぞれ合符号又は番号を表示すること。
- h. 室番表示
計器部の検針窓の近傍にそれぞれの室番又はお客さま名を表示できるスペースを設けること。

第3図

単相2線用集合計器箱寸法（計器30Aの例）

単位mm



	計器容量
	30A
A寸法	75mm

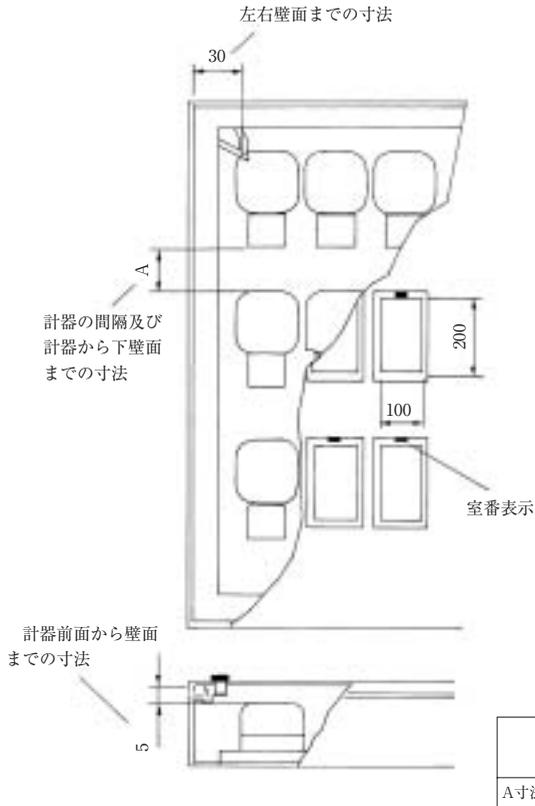
〔注1〕 計器の大きさは、“電力量計類及び計器箱の施設”による。

〔注2〕 この図の寸法は、最小値を示している。

第4図

単相3線用集合計器箱寸法（計器30Aの例）

単位mm



〔注1〕 計器の大きさは、“電力量計類及び計器箱の施設”による。

〔注2〕 この図の寸法は、最小値を示している。

第 5 図
集合計器箱構造例

